

東日本 大震災



復興の実現

★いわき市 復興の あゆみ★

2015



いわきの創生

いわき市

はじめに



ふるさといわきの復興と創生

いわき市長 清水 敏 男

平成 23 (2011) 年 3 月 11 日の東日本大震災から 5 年が経過します。

この間、本市においては、大地震や津波による被害への対応、原発事故に伴う風評被害などの困難を乗り越えるため、国内外からの温かいご支援を受けながら、市民の皆さまはじめ、関係各位が一丸となって、復旧・復興に取り組んでまいりました。

このような中、平成 27 年度は、市復興ビジョンに掲げる集中復興期間の最終年度であることから、市民の皆さまの生活再建を最優先としながら、鋭意復興事業に取り組み、防災集団移転促進事業における住宅団地の引き渡しが概ね完了し、災害公営住宅が本年 3 月までに全ての住宅が入居可能となり、宅地の引き渡しを順次進めている震災復興土地区画整理事業についても、平成 29 年 12 月までに完了見込となるなど、ハード面の基盤整備が着々と進んでおります。

また、県内初の国際首脳会議となった第 7 回太平洋・島サミットや 54 年ぶりの皇太子ご夫妻の行啓など、明るい出来事も数多くあり、本市の復興の大きな弾みになっているものと確信しております。

この『東日本大震災・いわき市復興のあゆみ 2015』は、平成 27 年における本市の様々な復興の状況をお知らせする冊子であり、限られた紙面ではありますが、皆さまのご理解の一助となれば幸いです。

平成 28 年は、本市にとって市制施行 50 周年の節目の年にあたります。

将来のまちづくりの指針となる新・市総合計画改定後期基本計画やいわき創生総合戦略に基づき、引き続き「ふるさといわきの力強い復興の実現」と「更なる 50 年に向けた魅力あふれるいわきの創生」に全力で取り組み、復興の総仕上げと地域創生へ力強く踏み出す年にしてまいります。

さらに、市制施行 50 周年のシンボルフレーズ「いわき ステキ 半世紀」のもと、「50 周年、50 の記念事業」と銘打ち、いわきサンシャイン博などの様々な記念事業を展開するとともに、本市を舞台に、我が国で初めて開催される第 1 回福島第一廃炉国際フォーラムや、第 3 回アンダー 15 野球ワールドカップなどを通して「明るく元気ないわきの発信」を進め、市民一人ひとりに更なる勇気や元気を宿す「心の復興」の火を灯し続けられるよう、ふるさといわきの力強い復興と創生の実現に向け、まい進してまいりますので、皆さまのなご一層のご支援・ご協力をお願いいたします。